

起動支援ソフトウェア

ColonYen.txt にしたがって、ColonYen は、ディレクトリに移動して、他のプログラムを起動します。起動したら、ColonYen 自体は、終了します。ColonYen のアイコン



ColonYen をダブルクリックして起動

起動したい他のプログラムとしては、cmd.exe, java.exe, cscript.exe などがあります。

コマンドプロンプト

Windows のコマンドプロンプトをパラメータと一緒に指定して起動できます。たとえば、青い背景に白い文字を描画するには、ColonYen.txt の第 1 行に以下のコマンドを記入してください。

cmd.exe /T:1F

インストール

1. トリシーカーというウェブサイトから、ColonYen.zip をダウンロードしてください。
2. ColonYen.zip を展開してください。ColonYen というフォルダができます。
3. 利用者は、フォルダの改名および移動が可能です。
4. スタートのメニューに含めるには、ColonYen のショートカットをスタートにドラッグして、ドロップしてください。ダブルクリックではなくクリックで ColonYen を起動できます。

ColonYen のショートカット



削除

アンインストール(プログラムの削除)を行うには、フォルダ (ColonYen) ごと削除します。ColonYen のショートカットがスタートのメニューに含まれている場合、ショートカットを右クリックしてメニューから削除を選択してください。

Start ボタン

ColonYen がウィンドウを生成した状態で、利用者は、Start ボタンをクリックすることで他のプログラムを起動できます。起動したら、ColonYen 自体は、ウィンドウを閉じます。

タイマーで自動的に起動

ミリ秒の単位で待機時間を設定できます。たとえば、1 秒が経過しても利用者が Start

ボタンをクリックしない場合、ColonYen が自動的に他のプログラムを起動するには、まず ColonYen.txt の第 2 行に 1000 を記入してください。次に、第 1 行の末尾に以下の文字列を記入してください。

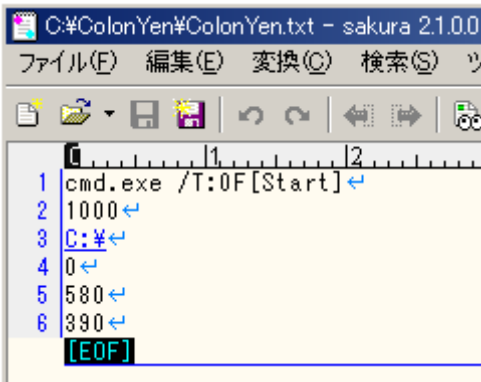
[Start]

F9 で起動

Start ボタンをクリックしないで、キーボードで他のプログラムを起動するには、F9 を押してください。さもないと、File メニューから Start を選択してください。すなわち、Alt を押しなが F を押して、そのまま Alt を押しなが S を押してください。Alt + F, Alt + S は、この操作を意味します。

ディレクトリに移動

ColonYen.txt の第 3 行に移動先のディレクトリの名前を記入してください。Windows 2000, サクラエディタで ColonYen.txt を表示した例



バージョン

ColonYen のウィンドウに、どのバージョンが表示するには、F11 を押してください。ColonYen のタイトルバーに表示されます。

バージョンを消去

バージョンの数字を消去するには、Shift を押してください。

コマンドプロンプトの最小化

第 4 行	配置	コマンドプロンプトのウィンドウまたはプロセス
0	前面	ウィンドウが表示される。
1	背後	ウィンドウが最小化される。
2		ウィンドウが表示される。隠れて見えない場合もある。
3		ウィンドウが表示されない。タスクマネージャでプロセスを確認。

自動的にコマンドプロンプトを最小化するには、ColonYen.txt の第 4 行に 1 を記入して

ください。まず中央に配置されて、次に最小化されます。

背後

もう一つのウィンドウの背後にコマンドプロンプトを配置するには、ColonYen.txt の第 4 行に 2 を記入してください。まず中央に配置されて、次に、多層の底に配置されます。たとえば、テキストエディタを使用しているとき、スタートメニューから ColonYen を選択してもテキストエディタの背後に配置されるため、そのままテキストを閲覧できます。

タスクマネージャ

コマンドプロンプトのウィンドウを表示しないでコマンドプロンプトのプロセスを実行するには、ColonYen.txt の第 4 行に 3 を記入してください。この場合、**ColonYen は、自動的に終了しません**。コマンドプロンプトのプロセスが終了したか確認するには、タスクマネージャを起動してください。タスクマネージャを起動するには、タスクバーを右クリックして、メニューからタスクマネージャを選択してください。さもないと、まず Ctrl を押しながら、Alt を押しながら、Delete を押しってください。Ctrl + Alt + Delete は、この操作を意味します。次に[タスクマネージャ]ボタンを押しってください。さらに、[プロセス]タブをクリックしてください。コマンドプロンプトのプロセスが終了していない場合、cmd.exe が表示されます。

コマンドプロンプトの幅

ColonYen.txt の第 5 行に幅を記入してください。ただし、コマンドプロンプトの幅は、制限されているため、画面の幅に拡大できません。

コマンドプロンプトの高さ

ColonYen.txt の第 6 行に高さを記入してください。

著作権

Sogaya(そがや)は、ColonYen の著作権を保有しています。Copyright 2016 Sogaya.

構築

Borland 無料コマンドラインコンパイラ (Borland C++ 5.5.1 for Win32) で構築されています。ColonYen のソースコードを添付しました。Makefile.mak も添付しました。

ユーザースガイド第 1 版

2016 年 7 月 20 日 Revision 1.036

コマンド

コマンドのパラメータが ColonYen.txt と矛盾している場合、パラメータが優先されま

す。

手動で起動

他のプログラムを自動的に起動しない設定で、ColonYen のウィンドウを生成するには、`colonyen -s-`を入力して Enter を押してください。

PDF のユーザーズガイド

ユーザーズガイド (ColonYen.pdf) を開くには、コマンドプロンプトに `colonyen -p` を入力して Enter を押してください。 `colonyen -a` は、`colonyen -p` と同じことです。

画面の四隅

画面の四隅のうち、右下に表示するには、コマンドプロンプトに `colonyen -s- -c3` を入力して Enter を押してください。

1 なら左上

画面の四隅のうち、左上に表示するには、コマンドプロンプトに `colonyen -s- -c1` を入力して Enter を押してください。

2 なら右上

画面の四隅のうち、右上に表示するには、コマンドプロンプトに `colonyen -s- -c2` を入力して Enter を押してください。

4 なら左下

画面の四隅のうち、左下表示するには、コマンドプロンプトに `colonyen -s- -c4` 入力して Enter を押してください。

どこにカーソルがあるか

ポインティングデバイス (マウス、タッチパッドなど) のカーソル (矢印、I など) が画面のどこにあるか、タイトルバーに表示するには、コマンドプロンプトに `colonyen -t -c3` を入力して Enter を押してください。

COLOR コマンド

青い背景に白い文字を描画するには、`/T:1F` のパラメータを記入しますが、コンソール出力の色属性に関しては、コマンドプロンプトに `COLOR /?` を入力して Enter を押してください。COLOR コマンドは、Windows 2000, Windows XP に最初から用意されています。

十六進数	色
0	黒
1	青
2	緑
3	水色
4	赤
5	紫
6	黄色
7	白
8	灰色
9	明るい青
A	明るい緑
B	明るい水色
C	明るい赤
D	明るい紫
E	明るい黄色
F	輝く白

コメント付きのバージョン

コマンド ColonYen のウィンドウを生成する前に、どのバージョンが表示するには、まずコマンドプロンプトに colonyen -VC を入力して Enter を押してください。コマンドの大文字は、小文字と区別されません。ColonYen は、colonyen と同じ結果になります。パラメータの大文字は、小文字と区別されます。V も C も大文字です。次に、TYPE version.txt を入力して Enter を押してください。TYPE コマンドは、どの Windows にも最初から用意されています。

```
C:\ColonYen>colonyen -VC  
  
C:\ColonYen>TYPE version.txt  
ColonYen Version 1.11  
  
ColonYen -c3      # diagonal  
ColonYen -p       # PDF help  
ColonYen -s-      # manual start  
ColonYen -t       # Show where the cursor is.  
ColonYen -V       # version  
ColonYen -VC      # version with comments  
  
C:\ColonYen>
```